

資料一覧

タイトルが変わりました！

第2回 若年者就労支援研究会

2006.7.28

- 前回の議事録まとめ
- 前回のアンケート
- 新聞記事(中盛さんからピックアップのあったもの)
- 三重大学石阪先生の調査概要(A3版)
- 4領域8能力表
- うつ度テスト
- 検定お伊勢さん
- 個人情報保護法令(法、県条例)
- セミナーチラシ案

関連WEB資料

- おしごと広場みえのホームページ
<http://www.oshigoto.pref.mie.jp/hiroba/index.html>
- 就職しま専科のホームページ
<http://www.oshigoto.pref.mie.jp/senka/>
- こころの健康センターのホームページ
<http://www.oshigoto.pref.mie.jp/KOKOROJO/HP/>
- 県が実施した雇用に関する調査
<http://www.oshigoto.pref.mie.jp/data/index.html>
- 内閣府の調査報告
<http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu.htm>
- 内閣府の研究報告
<http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/jirhu/index-j.html>
- 若者の人間力を高めるための国民運動(厚生労働省)
<http://www.wakamononinengyoku.jp/>
- 「育て上げネット」(若年者支援に取り組む東京のNPO)
<http://www.sciatasepa.org/>
- 「ひきこもりの実態に関する調査報告書(サマリー)ー全国引きこもりKHJ職の会における実態ー(2004年)
<http://www.khi-h.com/sozai/2003ivousa.pdf>
- 「ひきこもりの実態に関する調査報告書②ーNPO法人全国引きこもりKHJ職の会における実態ー(2005年3月)
<http://www.khi-h.com/sozai/2005ivousa.pdf>
- 職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(4領域8能力表)
<http://www.mnet.go.jp/ik/manu/shinpi/chnousa/shotou/023/youshin/04012801/002/007.pdf>
- ベック式・抑うつ度判定テスト
<http://www14.plala.or.jp/~chiro/depression/depression2.html>

最近の新聞記事資料

- 5月22日 中日新聞
「引きこもり進む長期化公的支援の充実急務親も退職年齢に社会保障影響も」
- 5月26日 読売新聞
「ニートの6割が活経験なし学生時から消極性社会との関係希薄」(ネット調査)
- 5月28日 読売新聞
「働くことが不安 社会性欠き孤立」フリーター・ニート ネット調査
- 6月4日 中日新聞
「共盛でニートの心を動かす」[レンタルお姉さん(荒川龍著 東洋経済新報社・1575円)]の本の紹介(読売新聞 5月23日同本の紹介)
- 6月4日の中日サンデー版
「若者と雇用」で見開き特集。
- 6月12日 読売新聞
「豊かさ再発見」で「つながり」求める若者」とあり、右上の囲みの中に「ニートや引きこもりなど社会との接点の薄さが指摘される中」と言う一文があります。
- 6月12日 中日新聞
「補充し合う枠組みを 引きこもり支援の民間団体宿泊型通所型訪問型…取り組みは千差万別 本人の意思や実情尊重した対応必要」
- 6月21日 中日新聞
「来月協議会を設置 引きこもり対策で愛知県」
- 7月2日 中日新聞
「ニート」「フリーター」厳しい将来 小学校でも「予防授業」資金差など現実を説明
※中盛委員より提供していただきました。

スケジュール

- 昨年度勉強会の概要説明及び石阪先生の調査概略(20分)
- 質疑(10分)
- 前回の課題の整理(30分)
研究会の目的と方向性
「協働型」の社会とは
ネットワーク構築と将来の方向性
ネットワーク構築時の課題「個人情報保護と連携について」
- 9月のセミナーの概要(15分)
研究会参加者の資源の棚卸し
広報、企画内容、参加者の集め方、事後フォロー
- 9月のセミナーについてディスカッション(40分)
- 連絡(5分)
8月の会議ゲスト(工藤啓さん)招聘etc

昨年度の勉強会概略

三重県の取組

若年者就労相談窓口「おしごと広場みえ」(平成16年5月)

- ・キャリアカウンセリング
- ・就職活動に向けたセミナーを開催
- ・企業の求人のマッチング

産業人材育成講座「就職しま専科」実施(平成16年度から 現在8期生募集)

対象者:30歳くらいまでの方(フリーターや無業の方)

地域:この講座は、県内の5大学を会場

プログラム構成:100時間(2~3ヶ月程度)のビジネスマナー、コミュニケーションスキルなどの座学と企業でのインターンシップ(最高40日)を受けていただき、修了後は、おしごと広場みえで就職支援を行う。

見えてきた課題

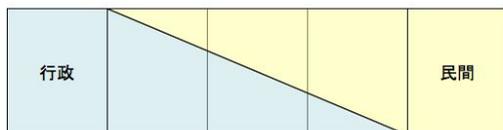
- ・「おしごと広場みえ」や「就職しま専科」に来る若者は、状況や抱えている課題が異なる。
- ・行政だけで、特に雇用対策にだけ力を注いでも、無業の若者やフリーターの若者は減らない。
- ・それぞれの個人が抱えている課題は、就職支援の窓口だけでは解決できないこと。
- ・情報が行き渡っていないか、情報があっても利用に結びついていない若者もあること

勉強会の趣旨

関係機関の連携や社会で若者を支える仕組みがつかれないかという思いで、関心を持つ方に声をかけ、NPO室と共催で勉強会を開催しました。

「協働型」社会とは

- 協働とは、目指す方向性に多少の相違があり、目標達成の方法論や考え方が完全に一致しなくても、重ね合わせることでできる共通の目標に向かって明確な形で協力関係にあること
（「ボランティア・NPO用語事典」社会福祉法人 大阪ボランティア教会編集）
- 多様な主体が社会に対して関心を持ち、公に関わった活動をしていること。（新しい時代の公）



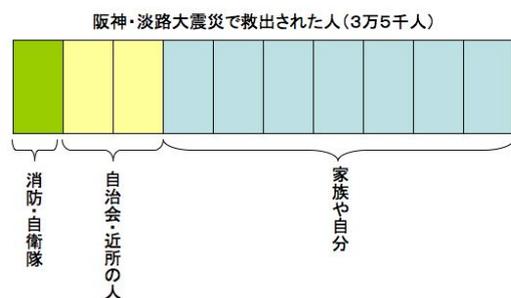
行政、専門機関の役割

- 行政には、「補完性の原理」での役割が求められている。

個人<家族<地域<市町<県<国

- 専門機関は、その専門性を発揮できる環境になければならない。（専門的救済を必要とする人に届く支援）

1:2:7の比率の「1」の意味



「協働型」社会

専門機関が、その専門性を高めていくと同時に、積極的に情報を提供し、市民が同じ社会的課題に対して関心を持ち、それぞれの専門性を知り、役割を見出す社会

専門機関が専門性を高めた事例)瓦礫の下から救い出しても急に圧迫から解放された人が死んでしまう場合がある。その経験をもとにJR福知山線脱線事故が発生したときに、現場に駆けつけて手術をして、3人の命を救った医師

専門性を知り、役割を見出す

- 専門的な視点を知り、その視点に基づいて行おうとする具体的な事業について、専門機関の役割と市民の役割を見出す。従来の行政の範囲にこだわらず、市民による取組が適切な領域を市民に任せる。（パートナーシップ、協働事業）



- 専門性を理解する。うつ度テスト、4領域8能力
- 協働することで、現在支援できている数よりも多くの人の支援をしていくために、どうあるべきかを探る場が必要。シアトルの地域課題を解決する会議では、99の同じ課題に対する意見と1つの課題への意見が同等に扱われる。1つだけの意見についても議論が行われる。そしてそれが同じように重要だと考えられるまで、議論が行われる。
- 従来環境の変化により今ある専門的な視点が合わなくなってきた場合は、専門的な視点をつくるという作業を協働で創っていくという場合もある。

研究会の目的

若年無業者の就労支援に向けて、課題に対する共通の認識を形成し、共通認識の社会化(啓発)を推進すると共にセミナー等の具体的な事業を通じて、支援組織同士の専門性を理解し、頼りあえる関係、すなわち

若年者就労支援ネットワークを構築する

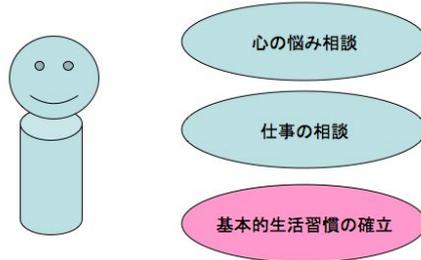
市民の力を活かす

- 専門機関が専門性を高めても、全ての事例には対応できない。
- 専門機関にすべてを任せて、課題に対して無関心な社会では、全体として救える人は少なくなる。
- 市民が専門的な知識を高めても、行政がやらなければならない領域がある。
- 従来は行政が担ってきた分野を見直し、市民がかかわる適切な領域を知り、市民に任せる。(指定管理者制度等)
- 市民が見出した役割を保障する社会的な仕組みが必要とされている。



次の一人を救うために何をするかを社会全体で考えていける「協働型」社会を目指そう！

課題と仕組みが合っているか？



本人が求めているものがなければ、その人は回復できない。

市民事業の自立に向けて

コミュニティビジネス(以下「CB」)

ビジネスである以上対価が収入源となる。

CBの成否は、その元となる対価の源(ニーズ)が地域にどれくらいあるかで決まる。つまり、同じCBでも地域が違えば、成否は分かれてくる。

(「市民参加のまちづくりⅦ 地域とまちづくり」の日本NPOセンターの山岡義典さんの対談から要約抜粋)

CBと非営利活動



ひきこもり、不登校、ニートへの事業でのCBの可能性

- 介護保険は、誰もが不慮の事故によりなくなる限り、老人になるため対象者が多くビジネスとして成り立ちやすいが、ひきこもり、不登校、ニートは、だれもがなりうる可能性があるが、現実的になる人は少ない。
- 将来的にも支援性が高い事業であり、市民が支援を受けずに継続事業としてやっていくには、対象者を限定しないことが必要。しかし、その場合は、対象者を限定しがちな行政は支援しにくくなる。

ネットワークの構築に向けて

研究会の中間目標

- ① 支援機関の課題に対する共通認識の形成
- ② 共通認識の社会化(啓発)推進
- ③ セミナー等の具体的な事業の実施
- ④ 支援者同士の互いの専門性を理解し、頼りあえる関係づくり

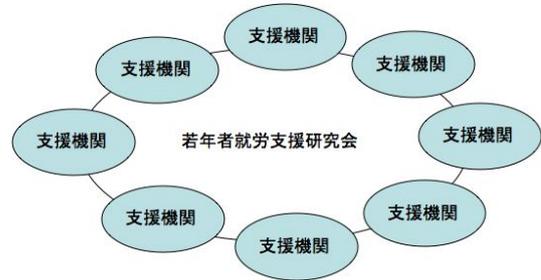


若年者就労支援ネットワークの構築

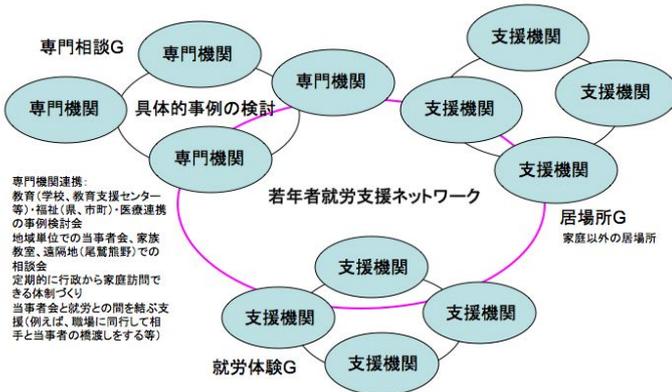
研究会の目的と具体的なアクション

最終目的	具現化の中間目標	具体的なアクション	研究会参加者に期待する役割
若年者就労支援ネットワークの構築	課題に対する共通認識	研究会、ワークショップの開催	情報提供 専門的な知識、技術 当該分野での経験、ノウハウ 斬新なアイデア ネットワークの構築
	共通認識の社会化(啓発)	セミナー、広報活動	本日のWSで発見!
	支援者同士の互いの専門性を理解し、頼りあえる関係づくり	メーリングリストによる意見交換、支援者養成プログラムの作成、就労体験場の設定	
	具体的な事業への取組	セミナーや支援マップ・ガイドブックづくり	

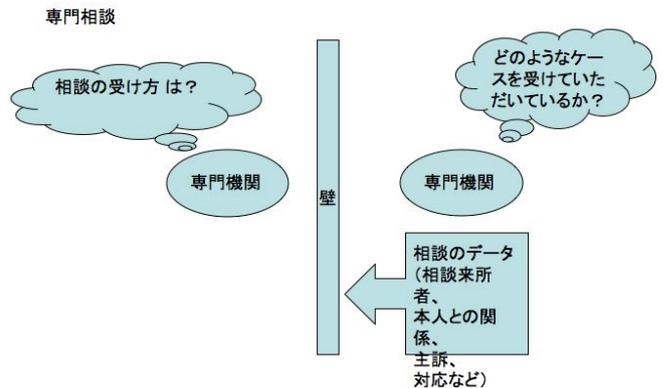
ネットワーク



目指す方向性: 専門と分化



情報共有の課題



個人情報保護法

● 個人情報の保護に関する法律

(平成一五年五月三十日法律第五十七号以下「法」)

第2,15~31条

● 三重県個人情報保護条例

(平成14年三重県条例第1号以下「県条例」)

第8,13条

連携の検討(行政×行政)

県条例第8条(6)

実施機関の内部で利用し、又は公的機関に提供する場合で、当該実施機関又は公的機関の適正な事務の遂行のために必要な限度で利用し、又は提供することについて**相当の理由**があると**実施機関が認める**とき。

連携の検討(2)(行政×民間)

委託の場合

法第16条第2項第4号

国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であつて、**本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。**

県条例第13条

- 実施機関は、個人情報取扱事務を実施機関以外のものに委託しようとするときは、その契約において、委託を受けたものが個人情報の保護のために講ずべき措置を明らかにしなければならない。
- 2 実施機関から前項の委託を受けたものは、個人情報の漏えい、滅失及びびき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。
 - 3 前項の委託を受けた事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない
 - 4 略

連携の検討(3)(行政×民間)

委託関係がない場合の情報共有には、本人の同意が必要であるため、個別事例に毎に本人の同意を確認することを徹底する。

また、支援マップ、ガイドには、個人情報保護の取り扱いについて明記する。

(参考)伊勢商工会議所が実施している「検定お伊勢さん」の募集要綱裏面

9月18日(月・祝)のセミナー趣旨

(仮題)若者をニートと呼ばない社会

ー若年者就労支援ネットワークの構築に向けてー

今、社会では若年者をとりまく雇用環境が変化し、フリーター、ニート、飛び石フリーターといった社会現象がおこっています。しかし、私たちは、その現状や問題をどれほど知っているでしょうか？

このセミナーでは、就職することについて悩んでいる若者、その家族の方、支援を考えている方を対象に、主に東京を中心として若年者の就労支援に取り組んでいる特定非営利活動法人「育て上げ」ネット理事長工藤啓さんを招き、支援現場から見てきた若者達の声に耳を傾け、若年者就労支援について考えます。後半は三重県下で取り組みをされている支援団体と共に若年者就労支援ネットワーク構築に向けたパネルディスカッションを行います。

セミナーの詳細

- 1 日時：平成18年9月18日(月・祝) 13時30分から16時30分まで
- 2 場所：津市広明町13番地 県庁講堂
- 3 対象：34歳くらいまでの方(学生の方も参加していただけます)、保護者の方、若年者の就労支援に関心のある方など
- 4 スケジュール
13時30分から15時 講演タイトル「未定」 講師 特定非営利活動法人「育て上げ」ネット 理事長 工藤啓さん
15時15分から16時 パネルディスカッション(各支援団体の紹介) コーディネーター 三重大学 石阪先生(予定)
16時から16時30分 質疑応答、ブース展示コーナー紹介コーナー

コーナー

- こころの健康センターコーナー
 - 語り場紹介コーナー
 - 地域若者サポートステーションコーナー
 - 自閉症・発達障害支援センターコーナー(12:30～13:30/16:00～17:00)
 - ボランティア・市民活動に参加しませんか？(市民活動センター)
- ブース
- ものづくりのスキルを身に付けよう 県立津高等技術学校
 - パネル展示及び相談
 - 説明会(2階会議室)
 - 「就職しませう」受講生募集説明会(16時30分～17時30分まで 申込不要)
- 5主催：NPO「子育て上げ」プロジェクト・就労・雇用支援室
6共催：若年者就労支援ネットワーク
7申し込み方法：締切日
8申込・問合せ先：NPO「子育て上げ」プロジェクト、就労・雇用支援室

ワークショップ

①対象者にセミナーを知らせる

②セミナーに参加した人が、各ブースに気軽に相談できる仕組みをつくる。

①対象者にセミナーを知らせる

話し合うポイント！

1. いつ
2. どこで
3. だれが
4. どのように
5. 必要なものは？

②セミナーに参加した人が、各ブースに気軽に相談できる仕組みをつくる。

1. 多様な参加者にむけて、どのようなブースがあったらいいか？
2. 各ブースが出展している目的を参加者に分かりやすくするにはなにが必要か？
3. 参加者をフォローする仕組みを各ブースにどうつくるか。

支援機関調査

団体名	〇〇	代表者〇〇
専門相談機能	〇	午前〇時から午後〇時まで
ネットワーク	×	現在ネットワーク機能はない。
居場所の提供	△	他の事業を並行して実施しているので専用スペースではない。
事例紹介	〇	モデル事例として…

マトリックスを作成

団体(個人)名	専門相談機能	ネットワーク	居場所提供	事例紹介
〇〇	〇	×	△	〇
〇〇	×	〇	×	×
〇〇	〇	×	×	〇
〇〇	〇	〇	×	×
〇〇	×	〇	×	〇
〇〇	×	〇	×	×